

2009年版

ひとりで学ぶドイツ語文法

自習学校 ドイツ語教室

はじめに

このウェブサイトは、はじめてドイツ語を学ぶみなさん、あるいは以前にドイツ語をやったがもう一度チャレンジしたいというみなさんを念頭において作られたものです。たいていのみなさんは英語はかなりのレベルまで学んでいるでしょうから、英語の知識からドイツ語に入っていけるように例文もできるだけ英語とドイツ語の両方を示してあります。また、ドイツ語の文法もすでに知っている英語の文法とはことなっている部分をできるだけくわしく説明しました。

外国語を理解して自国語と同様に使えるようにするためには、その外国語のしくみ、つまり文法をきちんと学ぶことが重要です。その次はその外国語を作り上げている単語をいかにたくさん覚えるかにかかっています。その目的で、日常でよく使われる単語のうちで使用頻度の高いものを、例文や練習問題・文章問題のなかでくりかえしもちいています。こうすることによってなんども同じ単語を目にすることとなり、いつのまにかその単語が頭のなかに入っていくでしょう。

それぞれの課には、どうしても知っておかなくてはならない文法項目がいくつかありますから、これだけは必ず覚えるようにしましょう。そうすれば、遙かかなたに見えた「ドイツの山」の頂上にいつのまにか到達することができるはずです。

Auf Leiden folgen Freuden.

"アウフ ライデン フォルゲン フロイデン"

「辛いことのあとには楽しみがある」 （「苦あれば楽あり」）